

老舗ニットファクトリーが「セーターとは何か？」を問う 新ブランド「THIS IS A SWEATER.」より第2弾モデルをリリース

米富繊維株式会社は、2021年11月15日（月）、新ブランド「THIS IS A SWEATER.」の第2弾として、「A SWEATER IS LOVE.（セーターは愛）」を発売いたします。

この「A2:A SWEATER IS LOVE.」は、アラン諸島最高のハンドニッターと称された故モーリン・ニ・ドゥンネルが遺した傑作「21世紀最高のアランセーター」を、米富繊維の技術によって現代のライフスタイルに適した素材とデザインで復刻したセーターです。

THIS IS A SWEATER.

°セーターを愛する

「THIS IS A SWEATER.」のロゴマーク

この「A2:A SWEATER IS LOVE.」は「アラン諸島最高のハンドニッター」と称された故モーリン・ニ・ドゥンネルが自らの技と情熱のすべてを注いで編みあげた「21世紀最高のアランセーター」を見本としています。モーリンは1981年、ローマ法王ヨハネ・パウロII世に献上されたアランセーターの編み手として世界に知られた伝説のハンドニッター。そして、このセーターの所有者は、日本にアランセーターを広めた第一人者である野沢弥一郎氏。

野沢氏は、アイルランドの彼女の元を訪れ、30にも及ぶ膨大な数の編み柄のひとつひとつが精緻に施された傑作を編んでもらいました。そして野沢氏の願いは、この世にたった1枚しか存在しないセーターの、神々しいまでの見事さを広く世に伝えたい、ということ。

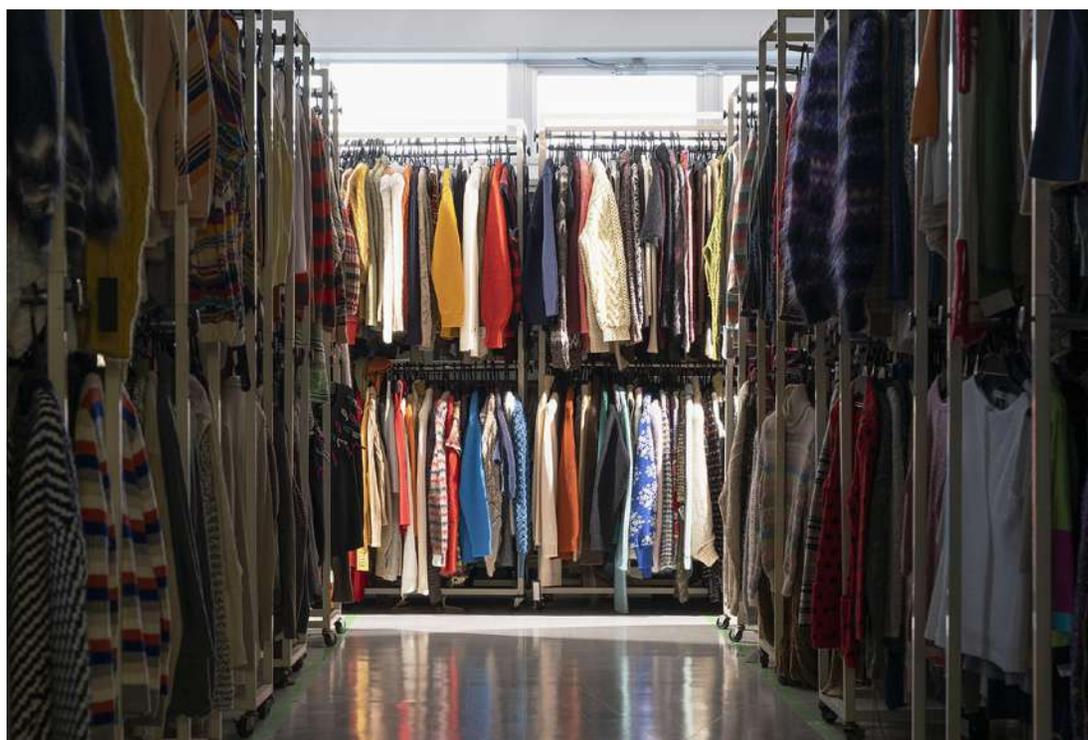
米富繊維では、その世界最高峰の傑作に負けないアランセーターを目指すべく、たった1枚のセーターのために捧げる技と膨大な時間と手間、惜しむことのない愛を試されながらようやく完成させることが出来ました。

通常アランセーターの糸は、粗野な風合いのウールを使用しているものが多く、肌を刺すような感覚がありますが、今回はウール100%の中に産地やマイクロン（繊維長）が異なる3種類のウールをブレンドし、太い1本に撚ることで、手編みのような粗野な風合いを残しつつ、同時にカシミヤのような柔らかさも合わせ持つ糸を開発。

このアランセーターに刻まれてきた歴史と伝統と物語に則りながらも、現代の生活にマッチするセーターにしたいという想いから、試行錯誤の結果、見た目はクラシックでありながらも現代的なセーターが仕上がりました。

なぜ「セーターとは何か？」を問うのか

ニットファクトリー米富繊維は創業以来、セーターづくりを営んできました。その歴史はセーターづくりの歴史とさえ言えます。本社を置く山形県山辺町はかつて「ニット産業の町」と呼ばれ栄えましたが、やがて時代のなかで衰退し、現在はその面影も薄い状況となっています。そうしたなか高度なニットテキスタイルの開発技術などを研ぎ澄ませながらセーターを編みつづけてきた米富繊維は、現在そしてこれからの「持続可能性」が地域社会のテーマとなる時代を歩むうえで、それにふさわしいセーターを提案するニットファクトリーブランドを立ち上げたいと考えました。これまでの長い歴史で蓄積してきた技術や経験をもとに、地域に今なお残る人の技術やリソースを生かしながら、従来にはなかった価値を編み込んだ本物のセーターづくりに取り組んでいきます。そのために誕生したのが「THIS IS A SWEATER.」です。ブランド・キーワードは、「イノベーション」そして「コラボレーション」。新しい素材や新しい技術を積極的に取り入れること。また、異業種の企業や人やブランドと積極的に協業すること。それらを通してセーターの新たな地平を開拓し、ふつうの毎日にときめきを与えつづけるようなセーターを、10年も20年もあるいは世代を超えても愛されつづけるようなセーターを、新しいけれど古くなることのない価値を宿したセーターを、ご提案します。長い人生を共にする一着、大切な人に贈りたい一着になるはずです。



第2弾のテーマは「LOVE (=愛)」

「THIS IS A SWEATER.」ブランドシリーズの第2弾は「A2:A SWEATER IS LOVE.(セーターは愛)」。

モーリンが編み、野沢氏が宝物とした「21世紀最高のアランセーター」。それに負けない1着をめざしたのが、わたしたち米富繊維です。いったい、世界最高のハンドニッターが遺した世界最高峰の傑作にどれだけ近づくことができるのか…。それは、老舗ニットファクトリーであるわたしたちの想像を遥かに超える困難な挑戦となりました。失敗に失敗を重ねながら、限界の先の限界を超える努力が求められました。わたしたちもまた、たった1枚のセーターのために捧げる技と膨大な時間と手間と惜しむことのない愛を試されながら、ひとつの答えにようやく辿り着きました。

編むことへの、着るひとへの、ひたむきな愛。

A SWEATER IS LOVE. セーターに懸けるこの大なる愛は、アイルランドから日本へと海を超え、国境を超えて、さらに…、やがて時を超え、世代をも超えて、これからも伝えられていくことだろうとわたしたちは信じます。

100年先の世界で、もしもこのセーターを誰か、たとえばあなたから受け継いだあなたの子孫が着てくれている。それはきっと、たった1枚のセーターに宿る愛が、滅びることなく永遠に輝きつづけることの証明となるはずです。



『A SWEATER IS LOVE.』商品概要

- ・糸：ウール 100% (英国産 40% ウルグアイ産 30μ 40%、ウルグアイ産 14.8μ 20%)
- ・編み：アラン編み
- ・サイズ：1, 2, 3, 4 (UNISEX)
- ・カラー：バイブリカルホワイト
- ・価格：57,200円 (税込み)

「THIS IS A SWEATER.」今後の販売と展開について (予定)

11月15日(月)より「THIS IS A SWEATER.ONLINE STORE」、セレクトショップ「District UNITED ARROWS」、「THE SHOP」にて販売いたします。(詳細は下記参照)

今後の展開等については、THIS IS A SWEATER.WEB サイトより随時情報を更新いたします。

District UNITED ARROWS

District UNITED ARROWS
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-17-9 2F



THE SHOP SHIBUYA
〒150-6101 東京都渋谷区渋谷 2-24-12
渋谷スクランブルスクエア
ショップ&レストラン 8F

THE SHOP YOKOHAMA
〒220-0005 神奈川県横浜市西区南幸 1-1-1
ニューマン横浜店 4F

THE SHOP TOKYO
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-7-2
JP タワー KITTE 4F

米富繊維株式会社について

米富繊維株式会社は、1952年に山形県山辺町に創業した老舗ニットファクトリーです。自社内にニットテキスタイル(編地)開発部門を擁し、開発したアーカイブは2万枚以上。そのニットテキスタイルの開発技術は、世界でも類稀なクオリティを実現しています。素材開発から商品開発、量産に至るまでを一貫して山辺町の自社ファクトリーにて行い、OEM/ODM/自社ブランドの3事業を柱に企画・生産・販売を手掛けています。展開する自社ブランドとして、形状の異なる複数の素材を組み合わせ、編み立てる「交編」という技術を用いて独自のテキスタイルを創造し、ファッションからインテリア、ライフスタイルグッズにまで展開している「COOHEM」(<https://www.coohem.jp/>)があります。

米富繊維株式会社 会社概要

- ・社名：米富繊維株式会社
- ・代表者：代表取締役社長 大江健
- ・設立：1952年8月1日
- ・資本金：6,300万円
- ・本社所在地：〒990-0301 山形県東村山郡山辺町大字山辺 1136
- ・従業員数：55名(2021年現在)
- ・事業内容：ウィメンズ・メンズニットの企画、製造、販売